令和８年度

事業名　地域と学校の連携・協働推進セミナー

期　日　令和８年１０月９日（金）

参加者　８０名

趣　旨

　地域全体でこども達の成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動とコミュニティ・スクールを一体的に推進するために、関係者の理解促進と連携の構築を図り、今後の取組の充実につなげる機会とする。

活動の様子

【サブプログラム】〈交流〉「ＣＳマイスター相談会 in 篠栗」

文部科学省ＣＳマイスター/栃木県教育委員会事務局生涯学習課副主幹　　井上　昌幸　氏





　午前の【サブプログラム】は、地域、学校、行政と様々な立場の方に御参加いただきました。それぞれの活動の現状や課題・悩みについて、１問１答形式で井上氏に御回答いただきました。井上氏には、具体例を交えながら親身になって答えていただきました。また、参加者同士でも質問し合うなど、とても充実した相談会となりました。

　参加者からは、「小学校や中学校の関係者の話を聞くことができ、逆に小・中学校に対して高校ができることはないか考えるきっかけをいただけた。」「実践に基づいたアドバイスを受け参考になった。」「実際の課題に対し、ご指導いただけたことでたいへんためになった。」といった感想が寄せられました。

【メインプログラム】〈説明〉「本研修会の趣旨について」

福岡県立社会教育総合センター社会教育主事　　杉　由大



　まず、地域学校協働活動とコミュニティ・スクール、それらの一体的推進の目的や仕組みについて説明しました。次に、本県の現状としてコミュニティ・スクールの導入や地域学校協働本部の整備は進んできたものの、「後継者不足」や、「地域住民・保護者の理解不足」「他者との連携不足」等の課題があることについて示しました。

　参加者からは、「学校を核とした地域となるような取り組み方について学べた。」「地域における学校の果たすべき役割やコミュニティ・スクールの意味や意義について確認することができた。」「少し偏ってとらえていた部分について学び直しができた。」といった感想が寄せられました。

【メインプログラム】

〈講話〉「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進のために」

～学校課題の解決と地域の活性化を目指した運営とは！？～

文部科学省ＣＳマイスター/栃木県教育委員会事務局生涯学習課副主幹　　井上　昌幸　氏





地域と学校の連携・協働の意義や様々な立場の視点で期待される効果について御講話いただきました。また、勤務された高校での実践事例を交えながら、持続可能なコミュニティ・スクールにするためのプロセス（教職員への周知・理解、課題解決のための活動の評価・改善等）や、学校運営協議会の運営のポイント（委員の選任、熟議のテーマ設定等）などについて御教示いただきました。

参加者からは、「課題発見、体制づくり、実施までのプロセスを学ぶことができてよかった。」「実践された内容があまりに充実していて本当にワクワクした。一歩を踏み出したい。」等の感想が寄せられ、参加者の一体的推進への理解が深まり、活動への意欲が高まっていることが感じられました。

【メインプログラム】〈演習〉「聞いて話して考えよう！私たちの地域と学校のコト」

福岡県立社会教育総合センター社会教育主事　　杉　由大





参加者が地域や学校の現状を整理し、課題やその解決方法を考え、エリアを超えたネットワークをつくることを目的として行いました。「人材確保・育成」「教職員・地域住民・保護者への周知・理解」「学校・地域・行政間の連携」「役割分担・体制の整備」の４つの課題をテーマにグループをつくり、同じ課題意識をもった方々が各自の取組等について情報交換をしました。また、井上氏にも会場を回っていただき、参加者からの質問に答えていただきました。

参加者からは、「テーマごとに職種がちがう方々と協議することができ、たくさんのことを学ぶことができた。」「悩みや課題を聞くのは、自分がやっている課題解決のヒントになった。」等の感想が寄せられました。

参加者の声

○　これからのできること、やっていくべきことなど、考えをまとめる参考になった。
○　しっかり話も聞いて、交流して、とても内容が濃かった。
○　いろいろな立場の方の話を聞くことができて新鮮で新しい学びがあった。
○　自分の地域ではまだコミュニティ・スクールが導入されていないので、これからの見通しをもつために役立った。